

別記様式第7号

公益信託ぎふNPOはつらつファンド  
実績報告書(事業助成用)

平成18年10月31日

公益信託ぎふNPOはつらつファンド受託者  
三菱UFJ信託銀行株式会社 あて

住 所:〒 509-2519  
岐阜県下呂市萩原町奥田洞928番地

法人(団体)名:

特定非営利活動法人 ジェニス

代表者名:

理事長 布目 美智男 印

公益信託ぎふNPOはつらつファンドから平成17年度(前期・後期)の事業助成を受けた事業が完了しましたので、下記のとおり関係書類を添えて報告します。

記

1. 事業名

南飛騨『ホスピタリティー・リゾート』構想の実現

2. 助成の種類 該当するものに を付けてください。

法人設立準備助成	立ち上げ時事業助成	展開期事業助成	人材育成事業助成
----------	-----------	---------	----------

3. 助成金額

既交付金額	5,000千円
実績額	3,893千円
差し引き額	1,107千円

4. 事業実施期間

平成17年10月 1日 ~ 平成18年 9月30日 ( 年12か月間)

## 5 . 実施した事業の実績・成果

### (1) 具体的な活動状況（実施日時、場所(住所)、対象者、参加者等）

10月 3日	下呂観光会館	健康セミナー	メンバー	10名
11月21日	近藤医院	健康セミナー	市内住民	15名
11月21日	小坂町商工会	健康セミナー	商工会員	20名
12月20日	近藤医院	健康セミナー	市内住民	15名
12月20日	ダ'イメント'ソサエティ	健康セミナー	従業員	20名
12月20日	ダ'イメント'ソサエティ	白川教授現地視察会議		
3月 8日	ダ'イメント'ソサエティ	健康ツアー	一般	15名
3月 9日	ダ'イメント'ソサエティ	健康ツアー	一般	15名
3月10日	奥田洞地区	健康セミナー	市内住民	20名
4月12日	ダ'イメント'ソサエティ	健康ツアー	一般	9名
4月13日	ダ'イメント'ソサエティ	健康ツアー	一般	9名
4月13日	下呂市民会館	ヨガ健康セミナー	市内住民	20名
4月14日	星雲会館	ヨガ健康セミナー	市内住民	18名
5月11日	下呂ふれあいセンター	ヨガ健康セミナー	市内住民	15名
5月11日	下呂市民会館	ヨガ健康セミナー	市内住民	20名
5月12日	ゆったり館	健康セミナー	市内住民	20名
5月12日	星雲会館	ヨガ健康セミナー	市内住民	15名
6月 8日	小坂山村開発センター	ヨガ健康セミナー	市内住民	10名
6月 8日	下呂市民会館	ヨガ健康セミナー	市内住民	18名
6月 9日	星雲会館	ヨガ健康セミナー	市内住民	15名
7月13日	小坂山村開発センター	ヨガ健康セミナー	市内住民	15名
7月14日	星雲会館	ヨガ健康セミナー	市内住民	15名
8月10日	小坂山村開発センター	ヨガ健康セミナー	市内住民	15名
8月10日	下呂市民会館	ヨガ健康セミナー	市内住民	20名
8月10日	星雲会館	ヨガ健康セミナー	市内住民	15名
9月 7日	小坂山村開発センター	ヨガ健康セミナー	市内住民	15名
9月 7日	下呂市民会館	ヨガ健康セミナー	市内住民	20名
9月 8日	星雲会館	ヨガ健康セミナー	市内住民	15名

## (2) 活動の成果（開催行事等の参加規模、目的の達成度、効果等）

地元住民の健康知識の普及といった面では、一定の成果を収める事が出来た。

特に、メタボリック・シンドローム等の生活習慣病の予防が心配となる中高年者からは、『体重が減った』『血糖値が下がった』『かかりつけの先生が不思議がっていた』『糖尿病から脱出する希望が湧いてきた』等の、大変な喜びの反響が多く寄せられた。

多くの方が、『病気は治療すれば治る』と誤解しているが、『生活習慣病の多くは発病したら治らない』ものであり、その原因の殆どが自業自得な生活習慣に拠っている事、そして僅かな知識で意識が変わり、生活習慣を変えていくことが出来る事をセミナー参加者は気付く事が出来た。

まだまだ、僅かな普及であるが、小さな一歩から健康意識層の増大、ひいては医療費の削減につながっていくものと確信する。

反面、『朝食は野菜ジュースにする』等の健康法については、医療関係者や小さいお子様を持つお母さん方の中に警戒心が強く、素直に実践していただけないケースもあった。

交流人口増大による地元観光産業の活性化についても取組み、健康セミナーの企画は順調にスタートしたが、後援をお願いしていた方に予想もしていなかった懲戒解雇の問題が発生した。

その為、3年間の長期計画で事業計画はスタートしたが、助成金の申請事業としては単年度で中断し、足元を固め地道な活動から再スタートしたい。

## (3) 今後の課題

地元住民への健康知識の普及による健康長寿な街づくりについては、セミナーを通じて一定の成果を収める事が出来た。この事については、今後も地道な活動の中でも取り組んで行けると考えます。

反面、健康をキーワードとする流入・交流人口増大による地元産業の活性化については、以下の点で力不足であったと感じています。

地元の他の団体を巻き込んだ、ネットワークの構築。  
助成金に頼らなくても可能な、企業等のバックアップ。  
住民主体の魅力ある街づくりと、広報活動。  
地元自治体のバックアップ。  
自己資本と自己収入。  
綿密な経営計画と実行。

今後については、自力で出来る小さなところからスタートし、一步一步、実績と信頼を重ね、地域や他団体との連携を深めながら、少しでも街づくりに貢献してゆきたいと思っています。